



# 年頭所感

会長 長瀬 清



明けましておめでとうございます。

北海道医師会会員の皆様には、ご家族共々佳い新年をお迎えのこととお慶びを申し上げます。

今年は6年ぶりの診療報酬・介護報酬同時改定の年に当たり、大変気にかけておりました診療報酬は昨年暮れ本体0.55%のアップと決定しました。診療料や入院料を上げるとしています。個々の詳細については今後の中医協でのやり取りになります。前回改定より2年間、さまざまな点から検証がなされており、不合理を生じないよう十分検討の上決定してほしいと願っています。介護報酬は6年ぶりにこれも0.54%のプラス改定となりました。介護従事者不足解消に少しでも近づけばと思っています。

昨年、日本医師会をはじめ全国の医師会は新生医師会として創立70周年を祝し、新たな意気込みで新年を迎えています。

医師会がこれまで取り組んできた、日本の社会保障、その根底にある国民皆保険制度が、世界の国々から評価されています。横倉義武日本医師会会長が昨年9月、東京で開催されたアジア大洋州医師会連合(CMAAO)総会で会長に就任されました。また、翌10月にはシカゴで開催された世界医師会総会で世界医師会会長となりました。また12月、東京都で国際会議(UHC:ユニバーサル・ヘルス・カバレッジ)フォーラムで挨拶し、健康長寿社会の実現にはUHCの推進が必要と述べる等、日本の医療制度の優秀性を世界に認めさせた功績は大であります。問題は、これから高齢社会を迎え、終末期医療に世界がどう向き合うかです。

米国トランプ大統領の考え、行動に世界中が振り回されています。ISは崩壊しましたが各地で地下活動テロが頻発し、中東では寝かしつけた子を目覚めさせような爆弾を投げかけています。腕力を見せつけ北朝鮮を威嚇し、日本の上をミサイルが飛び交う懸念を生じさせています。今ほど日本の適切な対応が求められている時はないでしょう。

2年後のオリンピック日本開催を平和な世界情勢の中で迎えられることを切に願っています。

一昨年末に策定を終えた地域医療構想を基に、昨年検討をしてきた第7次医療計画、第7期介護保険事業支援計画等を本年より施行することになります。2025年団塊の世代の人々が後期高齢者となる超高齢社会での地域医療の遂行に、医療、介護、福祉関係者と地域住民が協働して取り組まなければなりません。北海道では、広域性から、多くの地域が過疎化、医師不足による医療確保の困難が著明です。救急患者の搬送、医療対応にドクターヘリが採用されています。しかし、広域な北海道はヘリでは対応

不可能な場合があり、固定翼機の導入が必要であると多くの関係者から意見が出され、平成24年の地域医療再生基金を活用し、固定翼機の試験運航が足かけ3年にわたって行われました。北海道航空医療ネットワーク研究会が創設され、多方面にわたって導入活動を行ってきました。念願叶って昨年の国家予算に取り上げられ、早速7月30日丘珠空港内で就航式が開催されました。しかし、これには多くの制限があり十分ではありません。これからも粘り強く、要請活動を続けなければなりません。運航実績は着々と進んでいます。

一昨年7月天皇陛下自らビデオメッセージを通じ、全国民にお気持ちを発せられました。天皇は終生その地位にあるものと国民総てが認識していましたが、年齢、体力からその任を果たせないと考えているとのことでした。その後さまざまな意見が出ましたが、皇室会議が開かれ、閣議決定がなされました。2019年4月30日退位、翌5月1日新天皇即位と決まりました。慣れ親しんだ平成も残り1年半限りとなります。

1年繰り延べになった新専門医制度が、いよいよ4月開始となります。昨年開始のはずが1年繰り延べになった大きな理由が、新医師臨床研修が始まった平成16年と同様に地方の医師不足の事態が懸念されたことでした。1年かけての対策で、本当に懸念が払拭されたのでしょうか。専門医機構の確たるガバナンスが求められています。

今、労働者の働き方が多くの人々に注目されています。過重労働による自殺が問題化しているからです。医療界でも同様に、研修医の自殺がありました。医師は聖職で規制されるものではない、と現に法律上応召義務が課せられています。医師・患者関係は、一般の仕事上の付き合いとは異なった感情の上で成り立っていると考えられています。しかし、法律上はそのような人間感情は二の次と考えられ、行政は容赦しません。雇用関係を結び働いている以上は個人感覚よりも法律が優先し、裁判においても通じません。

医師の働き方の考えは5年間の猶予がありますが、やがて規則上で整理されるでしょう。医師の尊厳が守られるのか心配になります。

今年も、医師会としての役割をしっかりと果たすべく、役員、職員共に努力したいと年頭に当たり硬く誓っているところです。会員の皆様の変わらぬご支援よろしくお願いたします。

最後に北海道医師会会員ならびにご家族の皆様方のご健康ご多幸を心より祈念申し上げ、年頭のご挨拶といたします。

# CONTENTS

北海道医報  
平成30年1月1日 第1192号

年頭の辞／年頭所感	長瀬 清	2
年頭所感	横倉 義武	4
年頭所感	高橋はるみ	6
年頭にあたって	佐藤 敏	7
医の倫理綱領		9
報告／第97回北海道医学大会総会	櫻井 晃洋	10
日医報告／大学医学部・医学会女性医師支援担当者連絡会 一よりよい男女共同参画を目指して	藤井 美穂	12
学会報告／第24回日本航空医療学会	浅井 康文、目黒 順一	14
第44回 全道医家囲碁大会		15
税務相談室／その他の必要経費	中村 孝一	19
医師のための法律相談コーナー／医療機関と個人情報（4） －法令に基づく個人データの第三者提供②－	矢吹 徹雄、二本柳宏美	20
北海道医歌人会詠草		22
特集／新春随想		23
ポラリスを仰ぐ北の大地から	佐藤 貢、島田 道朗	44
大通公園を望む窓辺から	笹本 洋一、藤瀬 幸保	45
医学会・医学講演会等 開催情報		46
中央46 道南49 後志49 日胆49 空知49 道北50 北見51 道東51		
日医認定産業医制度研修会開催一覧		52
日医認定健康スポーツ医制度再研修会開催一覧		52
訃報		53
新規指定医療機関		53
売貸医院・医師招聘情報		54
会議室／第17・18回常任理事会		58
道医の動き		62
道医師国保の頁		63
季節風／《ここ掘れワンワン》戌年を迎えて－癒しと適量の運動の相乗効果－	橋本 洋一	74
お知らせ		
研修会等への託児サービス併設費用の助成⑪／「医師資格証」を持ちましょう⑬／第52回 北海道ドクターズゴルフ大会開催のお知らせ（予告）⑱／『北海道医歌人会』へのご加入 のお願い⑳／「応急手当WEB」「救急医療啓発パンフレット」へのリンク依頼㉒／名寄市 開業医誘致制度のご案内㉓／北海道医報へのご投稿等㉕／北海道医師会は、北海道に在住 するすべての医師が利用できる女性医師等支援事業を推進しています。㉗／グループ保険 のご案内㉘		

北海道医師会会員数	8,383名 (-8)	うち日本医師会会員数	5,903名 (-8)		
A	2,457名 (-1)	B2	4,680名 (-8)	C2	129名 (+1)
B1	608名 (+4)	C1	105名 (-1)	C3	404名 (-3)

平成29年11月30日現在 ( ) 内前月比

## 作品介绍

まえだ まさお  
前田 政雄 『霊峰富士』

1904（明治37）年～1974（昭和49）年

函館生まれ。

1940（昭和15）年の作品。木版・紙（27.2×36.8cm）。

1924年上京し川端画学校洋画科に通うとともに、油彩画を梅原龍三郎に、木版画を平塚運一に学ぶ。1928年第4回北海道美術協会展（道展）で協会賞を受賞、同会会員となる。1930年国際美術協会展で《支笏湖》が協会賞を受賞。1932年日本版画協会展の会員となる。1943年第18回国画会展で会友推挙される。

## 北海道美の遺産

写真・資料提供：北海道立函館美術館  
（函館市五稜郭町37番6号 0138-56-6311）

1964年函館で回顧展「前田政雄版画40年の歩み展」を開催する。1971年宮内庁より下田御用邸作品の依頼を受ける。「山の版画家」としての地位を築き、日本の版画界に確かな足跡を残した。

海越しの富士山が見られる静岡市・三保半島にある景勝地「三保の松原」から描かれており、古来より信仰の対象とされた霊峰富士の神聖な美しい姿を、日本の伝統色と配色で鮮やかに表現している。また、日の出前の柔らかな空の色、青富士の朝焼けに染まる山頂、裾野に広がる松林や白波が打ち寄せる海岸は、濃淡をつけるぼかし技法など木版画のさまざまな技法を生かした奥行きのある色面構成で、臨場感が伝わってくる。